

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2007 3.10
No. 939

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています



蒲郡市民病院

ずっと何とかしたいと みんな思っていた

看護師の サービス残業根絶

働いた分はきちんと時間外

勤務命令簿に申請しよう

職場巡視活動 にとりくむ 蒲 郡 市 職

3月1日夕方5時45分、「日勤者で残っている人は何人いますか？」と病院支部長の竹内享香さんが各職場に声をかけます。組合三役も一緒に外来や各病棟を巡回し、時間外をきちんとつけまじょうと呼びかけ、「サービス残業なくそうキャンペーン中！」と書かれたチヨコレットを差し入れました。

9割近い サービス残業

蒲郡市職員組合は、長年の課題であった根強い看護師のサービス残業を改善するため、昨年の6月から運動を強め、6月と9月と10月に看護師対象の職場討議を延べ31回開催し、職場の状況把握やサービス残業をなくすための取り組みについて話し合いを重ねてきま



病院職場を巡視する支部長の竹内さん(白衣)と組合員のみなさん

した。病棟会議やチーム会各種委員会や研修会、看護研究やレポート提出など通常業務の他にも多くの課題が看護師には課せられおり、その多くがサービス残業になっていきます。昨年7月には1カ月間労働チエックカレンダーを記録し、始業終業時間や時間外労働の実態を調査しました。

労基署が実態 調査を指導

今年2月になって労基署から組合に「病院当局に所定労働時間以外の実態調査を実施するよう指導した。調査に合わせた、時間外申請を徹底するよう組合で取り組んで欲しい」と連絡がありました。



日比谷野外音楽堂にぎっしりつめかけた参加者

生活できる最低賃金を 守心できる雇用と 賃金改善を求めて

- 3.6中央集會に3800人 -

「なくせ格差と貧困 安心できる雇用と賃金」を求めて3月6日、中央総決起集會が日比谷野外音楽堂で開かれ3800人を超える官民の労働者が集まりました。



名古屋市職労古田雄一さん

民間も公務も労働 時間短縮・賃金 引き上げを

集會に先がけて、総務省前で自治労連独自集會が行われ、最低賃金の引き上げや同じ仕事をしている臨時やパート労働者の均等待遇改善を求めようと呼びかけました。決起集會では、今の日本の労働者をとりまく状況を報告し合い、パフォーマンスもあり大いに盛り上がった集會でした。また、韓国の公務労組(KGEU)の代表も参加し、「アジアの労働者の先頭に立つ

いたのかを明らかにし、時間外勤務命令簿と照らし合わせることで、実態に合った時間外手当が支払われているかどうか分かります。病院当局は、「出退勤時間管理表」を師長を通じて配布し、3月1日から1カ月間の記録を実施していきます。

職場に時間外を つけられる状況が 生まれ始めている

組合の巡視活動に、「組合が回ってきてくれて励まされた」「時間外をきちんとつけまじょうと呼びかけられて心強い」など歓迎する組合員の声が寄せられています。

今後3月中旬に2回の巡視活動を予定し、サービス残業根絶に向けての取り組みを強めていくことにしています。

各種委員会や研修会など院内で行われる業務にかかわることは時間外労働としてルール化していく運動と共に、「働いた分は申請する」「よつ、看護師自らの意識を変えていく取り組みも必要です。

組合員を本気で増やすぞ!!

愛知県本部の07年組織集
会が3月4日、5日、豊橋
シーパレスで開催され20
組80人が参加しました。伊
藤書記長の開会あいさつの
後、大高保明さん(東京学



明るく元気な講師の
大高保明さん

習会議事務局次長)の「み
んなで広げる、いきいき組
織活動」の講演が行われま
した。大高さんは、東京・多
摩地域の自治体労働運動と
かわりながら、全国の労
働組合や民主商工会
で講師活動をされて
います。
「要求とは何か」
「生活を語るとは」
など、労働組合の団
結と運動の基礎をわ
かりやすく解説し、「労働
者として人としての権利意
識をもち、生活討議をする
ことが『うち意識』を克服
していくことにつながる」
など要求の組織化について
語りました。「労働組合民
主主義は、みんなで話し合
い、みんなで決め、みんな
で実践すること。他人まか
せでは民主主義ではない」
など、明快な話に参加者も
いきいきとした表情で聴き入
りました。

07年県本部組織集会



大量退職と人員抑
制の中で、組織の
拡大・強化、公務
労働者と住民の要
求を実現するた
たかいは重要となっ
ている」と今春の
第2次組織拡大強
化月間(3月5
月)を成功させよ
うと方針提起しま
した。

学事労(自治労連共済の普
及と日常活動の工夫)、健
交労保育パート支部(定年
年齢の引き上げ獲得など要
求前進のとりくみ)、幸田
町職労(保育園の非正規職
員の本格的組織化)につい
てされました。二日目は分
科会、講座に分かれて組織
活動の交流や臨時・パート
労働者の賃金・権利、自治
労連共済の前進にむけた討
論が行われました。

キラリ輝く、 なかま

①

「60年目の夏ヒロシマ」 「夏の宮島」 油絵で描く

学校用務員の仕事に働きがい

プロスキーボードの経歴を持つ多彩な人



2作目の「夏の宮島」を手にする

豊橋市職労
まさひろ
くじ目将大さん

くじ目将大(くじめまさ
ひろ)さん(34歳)は、豊
橋市職労教育支部学校用務
員分会(高師台中学)で働
いています。
05年8月の原水禁世界大
会に初めて参加し、その時
感じた「過去を今見えるモ
ノとして残したい」思いを
油絵に「60年目の夏ヒロシ
マ」として描き上げました。
2作目は「夏の宮島」で、
額も木製の手作りとの本格的

です。
くじ目さんは、3歳から
18歳までフィギュアスケート
を続け、インターハイ出場
全日本代表選手になるなど
の経歴の持ち主です。また
北海道の大学卒業後は、木
工会社に就職し、木の乾燥
状態がわかるといいます。
就職して4年目に、大学
在学中に覚えた「フアン
スキー(100cm以下の短い
スキー)」の世界に魅了さ



華麗なジャンプを見せるくじ目さん

れ、プロスキーボードとし
ての道を歩みだしました。
長野の白馬五竜を拠点にプ
ロ活動をはじめ、日本のコ
アエックスゲームス大会
(ワンメイクジャンプ、ク
ロス、スロープスタイル)
の3種目中2種目で表彰台
にのり「敵なし」といわれ
ていました。

海外のニューヨークエッ
クスゲームス大会にも出場
し、4メダルを獲得した経
験やスキーボードの雑誌や
ビデオに出演したこともあ
ります。
その後、地元の豊橋で就
職し、28歳で学校用務員に
採用され6年が過ぎまし
た。先日行われた豊橋市の
全庁的業務改善改革運動で
は学校用務員分会の活動を
報告するメンバーとして参
加し、優秀賞を受賞しまし
た。「学校用務員の仕事は
子どもたちから教えられる
ことが多い」と言います。
最近も卒業式の壇上の看板
を生徒と一緒に手作りした
ことが楽しい思い出とか。
どんな事にも興味関心を示
し、その道を極めることが
ライフワークになっている
くじ目さんの今後の目標を
お聞きすると、「組合役員
として人前でうまく話がで
きるようになりたい」と
語ってくれました。笑顔が
さわやかなくじ目さん、組
合活動も極めてください。

その道に魅了さ
れ、プロスキーボードとし
ての道を歩みだしました。
長野の白馬五竜を拠点にプ
ロ活動をはじめ、日本のコ
アエックスゲームス大会
(ワンメイクジャンプ、ク
ロス、スロープスタイル)
の3種目中2種目で表彰台
にのり「敵なし」といわれ
ていました。

単組・地区協 のとりくみ

名古屋市職労 60周年記念の ことい

1947年3月29日に名
古屋市職労が結成されて60
年。2月24日ウイールあいち
ホールで300人が参加し
て記念のつどいを開きまし
た。憲法を市政とくらしに
活かす努力の歩みを、スラ
イドと朗読、うたごえで綴
り紹介。



笑工房から木藤なおゆき
さんを迎え、厳しい芸人の
仕事とともに現代の世相を
斬り、労働者・労働組合を
激励する漫談で、会場いつ
ぱいに笑い声が広がりました。
講演に立った、ジャー
ナリスト・大谷昭宏さんは

とても辛かったのが、少し
ずつ緩和してきています。
感謝です(鈴木好代・半田
市職)。4月からお昼休
みが45分に。外にも出られ
ない、あわただしくて、つ
らいな林智子(西尾市職)
2月に札幌の友人のここ
ろに遊びに行ってきたま
した。主に趣味の関係の交流
物など冬の北海道を思いっ

「作られた格差社会の下
で、大事な子どもを戦争
に駆り立てる社会にしては
ならない」「自治体職員で
あるみなさんが、この60年
格差のない社会を願いた
たかいつづけてきたはず。61
年以降を本当にたたかい
ぬくことのできる労働組合
であってほしい」とエール
を贈りました。
受付に市職労の機関紙が
創刊号から展示され、これ
までの歩みと歴史に多くの
参加者が見入っていました。

第14回囲碁・将棋大会



昨年好評の指導対局

自治労連愛知県本部主催
日時 5月19日(土) 午前10時開会
場所 自治労連愛知県本部3階・大会議室
A級 有段者レベル
B級 級レベル
囲碁・将棋ともプロ棋士による指導対局
があります。
申し込みは自治労連愛知県本部まで
締め切り 5月11日(金)

職場の声

現在育児休業中。子ども
と向き合っている貴重な
時間もとわずに。復帰
後は軌道にのるまで大変だ
とは思いますが、頑張らな
くては(落合麻美・春日井
市職労)。「ひざの痛み
効くツボ」を読んで実行し
ています。階段を下るのが

きり楽しんできました(石
黒裕子・岩倉市職) 鎌倉
に行ってきた。小旅行
は気分をリフレッシュして
くれます(中山良子・豊橋
市職労) スギ花粉症つい
に出してしまい、医者通い
です。レーザーで鼻の奥を焼
くのとどうなんでしょう。
う。やった人いたら話を載
せてほしい(森加代子・名
古屋市職労)